

アイカ工業株式会社

2024年3月期第2四半期 決算説明会



VALUE CREATION  
3000 & 300



2023年 11月24日  
証券コード：4206

## 1. 2024年3月期 第2四半期 実績

## 2. 2024年3月期 通期 計画

## 3. セグメントの実績および方策

### 3-1 化成品セグメント

### 3-2 建装建材セグメント

## 4. 配当について

## 5. 中期経営計画 “Value Creation 3000 & 300” の進捗

## 1-1. 連結決算の概要

[百万円]

	2023/3期 上半期		2024/3期 上半期				
	実績	利益率	計画	実績	利益率	伸率	達成率
売上高	117,704	—	119,000	113,307	—	▲3.7%	95.2%
営業利益	9,437	8.0%	10,000	11,406	10.1%	+20.9%	114.1%
経常利益	10,294	8.7%	10,300	12,047	10.6%	+17.0%	117.0%
四半期純利益※	6,436	5.5%	6,200	7,390	6.5%	+14.8%	119.2%

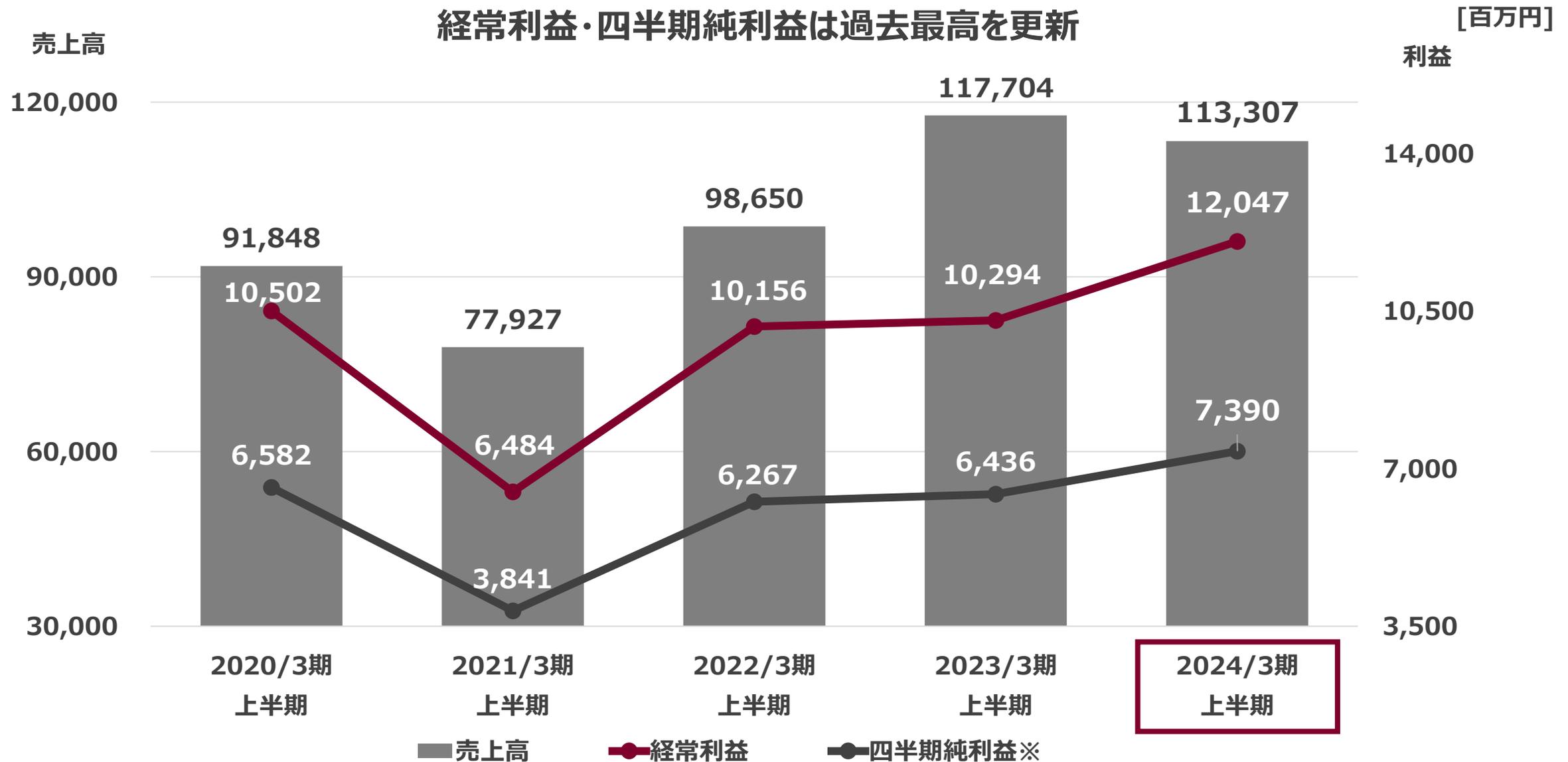
※親会社株主に帰属する四半期純利益

[一株当たり単位：円]

一株当たり四半期利益	100.62	—	96.93	115.53	—	+14.8%	119.2%
------------	--------	---	-------	--------	---	--------	--------

- 連結業績：**営業利益・経常利益・四半期純利益※は過去最高を更新**
- 国内事業：建設市場は低迷も、建装建材で高付加価値品が伸長したほか、化成品で収益性の改善が進む
- 海外事業：化成品は売価の低下、需要の低迷により減収も、利益は伸長  
建装建材は中国の回復をはじめ、東南アジア全般で好調に推移

## 1-2. 連結決算の推移



※親会社株主に帰属する四半期純利益

# 1-3. 主要項目の状況

	2022/3期 上半期	2023/3期 上半期	2024/3期 上半期
研究開発費	16.4億円	17.2億円	19.4億円
減価償却費	28.7億円	31.0億円	30.2億円
設備投資額	22.2億円	44.3億円	34.8億円
借入金残高	93.1億円	145.2億円	123.2億円
期末人員	4,954人	4,971人	5,111人
（国内）	1,610人	1,608人	1,596人
（海外）	3,344人	3,363人	3,515人

# 1-4. セグメント別業績

[百万円]

	売上高					営業利益						
	2023/3期 上半期 実績	2024/3期 上半期 実績	伸率	2024/3期 上半期 計画	達成率	2023/3期 上半期 実績	2024/3期 上半期 実績	伸率	2024/3期 上半期 計画	達成率		
化成品	71,654	63,697	▲11.1%	72,000	88.5%	3,783	4,225	+11.7%	3,800	111.2%	金額	
						5.3%	6.6%	-	5.3%	-	利益率	
建装建材	46,050	49,610	+7.7%	47,000	105.6%	7,459	9,090	+21.9%	8,100	112.2%	金額	
						16.2%	18.3%	-	17.2%	-	利益率	
						(配賦不能営業費用)	▲1,804	▲1,909	+5.8%	▲1,900	-	金額
合計	117,704	113,307	▲3.7%	119,000	95.2%	9,437	11,406	+20.9%	10,000	114.1%	金額	
						8.0%	10.1%	-	8.4%	-	利益率	

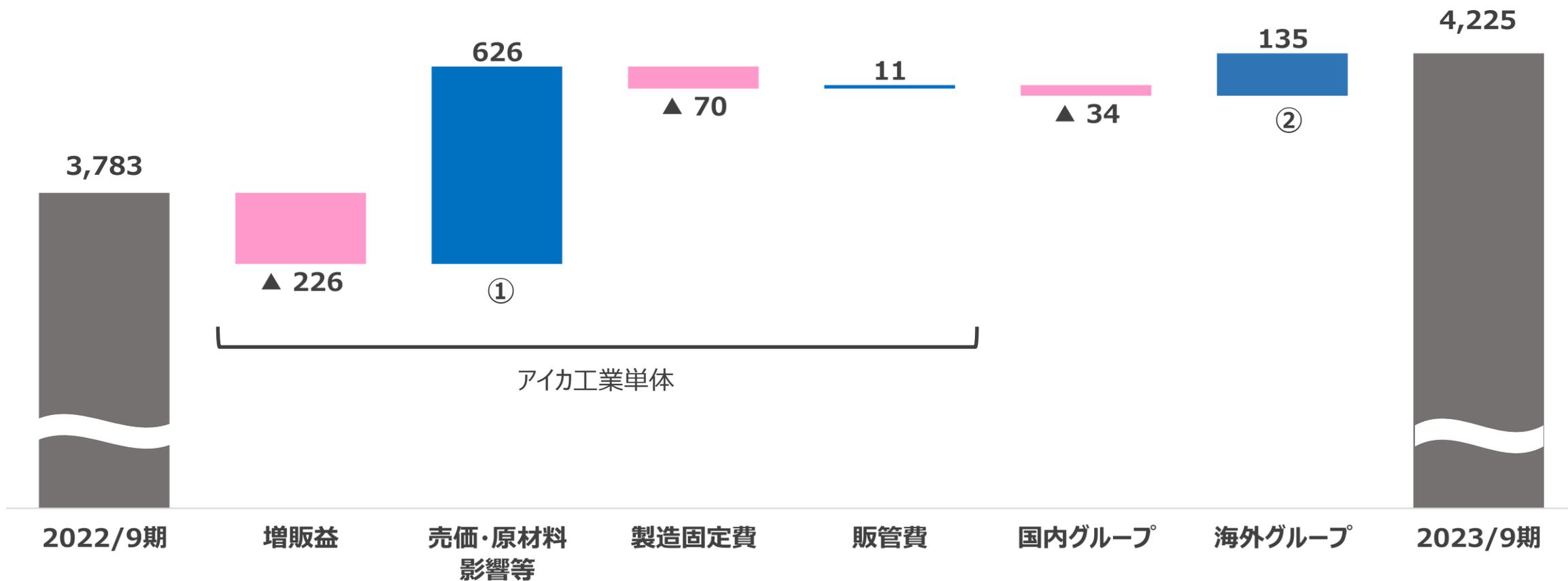
## 1-5. セグメント別海外売上高

[億円]

	2023/3期 上半期実績		2024/3期 上半期実績		
	売上高	海外売上比率	売上高	伸率	海外売上比率
化成品	537.9	75.1%	452.9	▲15.8%	71.1%
建装建材	83.5	18.1%	94.7	+13.4%	19.1%
合計	621.4	52.8%	547.7	▲11.9%	48.3%

# 1-6. 化成品セグメント 営業利益実績

[百万円]



① 売価・原材料影響等  
 原材料影響等 ▲ 519  
 価格転嫁・コストダウン +1,002

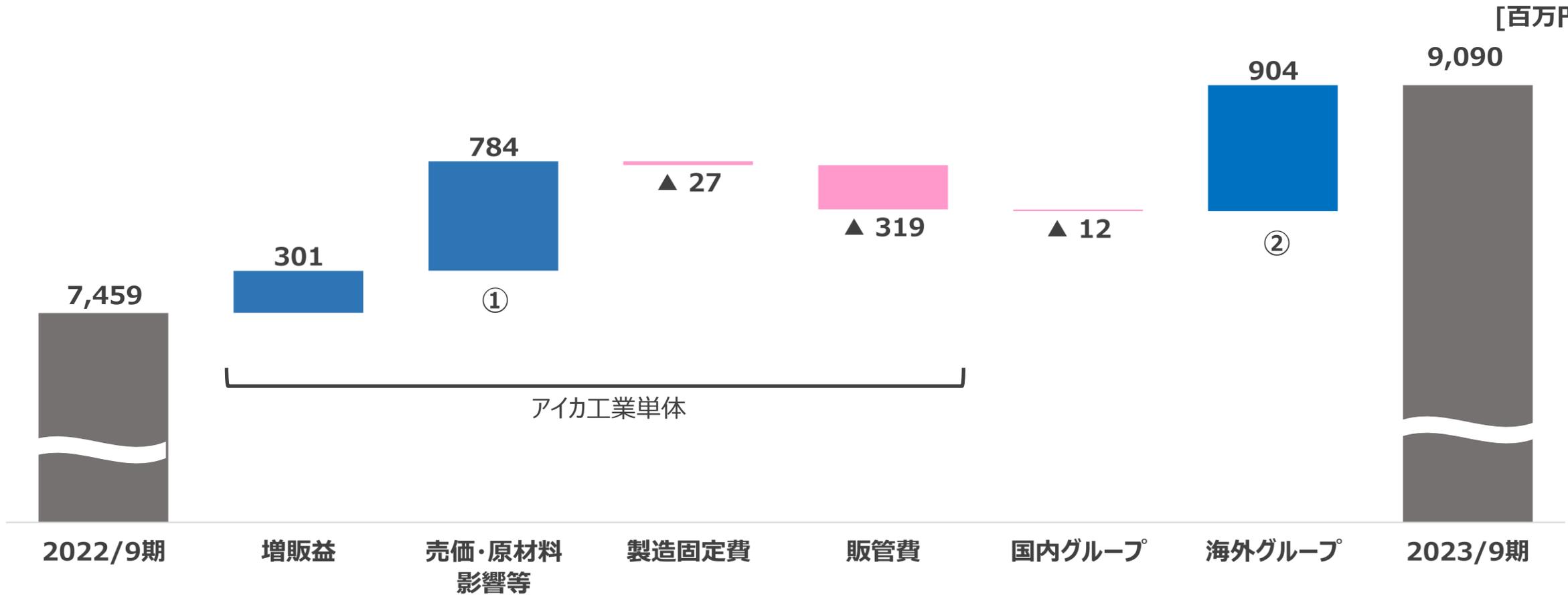
② 海外グループ  
 AAPHグループ + 16  
 EMCグループ +131

※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

※AAPH：アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング  
 ※EMC：エバモア・ケミカル・インダストリー

# 1-7. 建装建材セグメント 営業利益実績

[百万円]



① 売価・原材料影響等  
 原材料影響等 ▲ 820  
 価格転嫁・コストダウン +1,654

② 海外グループ  
 アイカチャイナ +337  
 ウィルソナート・タイ社 +191

※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

※ アイカチャイナ：ウィルソナート上海社 + ソイス社

1. 2024年3月期 第2四半期 実績

**2. 2024年3月期 通期 計画**

3. セグメントの実績および方策

3-1 化成品セグメント

3-2 建装建材セグメント

4. 配当について

5. 中期経営計画 “Value Creation 3000 & 300” の進捗

## 2-1. 2024年3月期 経営環境予測

## 国内建設市場

※当社需要期へタイムラグ調整済み

	住宅（着工戸数）	非住宅（着工面積）
2023年3月期（実績）	▲0.8%	+8.1%
2024年3月期（期初予測）	▲0.7%	▲3.9%
2024年3月期（最新予測）	▲1.5%	▲11.2%

## 海外市場

ウクライナ情勢の長期化、イスラエル情勢、中国経済の減速懸念など先行き不透明

## 為替換算レート

※各国通貨建てのため、ドル建ての子会社は数社のみ

2023年3月期（実績）	1USD = 130.77円
2024年3月期（予測）	1USD = 125.00円
2024年3月期（最新予測）	1USD = 145.00円

## 国産ナフサ価格

※すべての原材料がナフサに連動するわけではない

	上半期	下半期	通期
2023年3月期	75,500円/kl（実績）	77,000円/kl（実績）	76,250円/kl（実績）
2024年3月期	67,000円/kl（実績）	68,750円/kl（予測）	67,875円/kl（予測）

## 2-2. 2024年3月期 通期計画

[百万円]

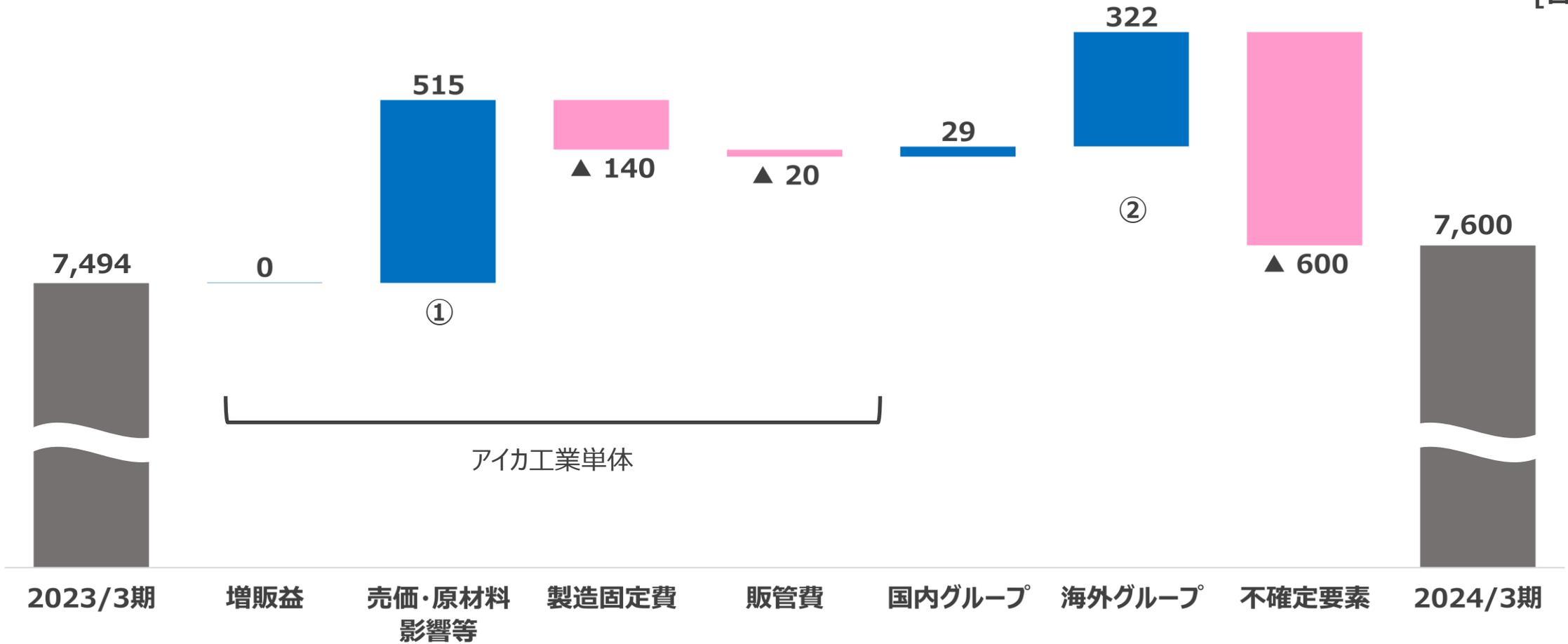
	2023/3期 実績		2024/3期 計画			対前期
	金額	利益率	金額	利益率	伸率	増減額
売上高	242,055	—	250,000	—	3.3%	7,945
営業利益	20,557	8.5%	21,500	8.6%	4.6%	943
経常利益	22,088	9.1%	22,500	9.0%	1.9%	412
当期純利益※	10,059	4.2%	13,200	5.3%	31.2%	3,141
ROE	6.9%	—	9.0%	—	—	—
ROA	4.1%	—	5.2%	—	—	—
一株当たり純利益	157.27円	—	206.37円	—	—	—
一株当たり株主資本	2,270.08円	—	2,366.45円	—	—	—
研究開発費	39.9億円	—	42.0億円	—	—	—
減価償却費	67.9億円	—	75.0億円	—	—	—
設備投資額	86.9億円	—	100.0億円	—	—	—

※親会社株主に帰属する当期純利益

## 2-3. 2024年3月期 通期セグメント別計画

[百万円]

	売上高			営業利益			
	2023/3期 実績	2024/3期 計画	伸率	2023/3期 実績	2024/3期 計画	伸率	
化成品	141,312	145,000	2.6%	7,494	7,600	1.4%	金額
				5.3%	5.2%	—	利益率
建装建材	100,743	105,000	4.2%	16,740	17,900	6.9%	金額
				16.6%	17.0%	—	利益率
				▲3,678	▲4,000	—	金額
				(配賦不能営業費用)			
合計	242,055	250,000	3.3%	20,557	21,500	4.6%	金額
				8.5%	8.6%	—	利益率



① 売価・原材料影響等  
 原材料影響等 ▲1,100  
 価格転嫁・コストダウン +1,415

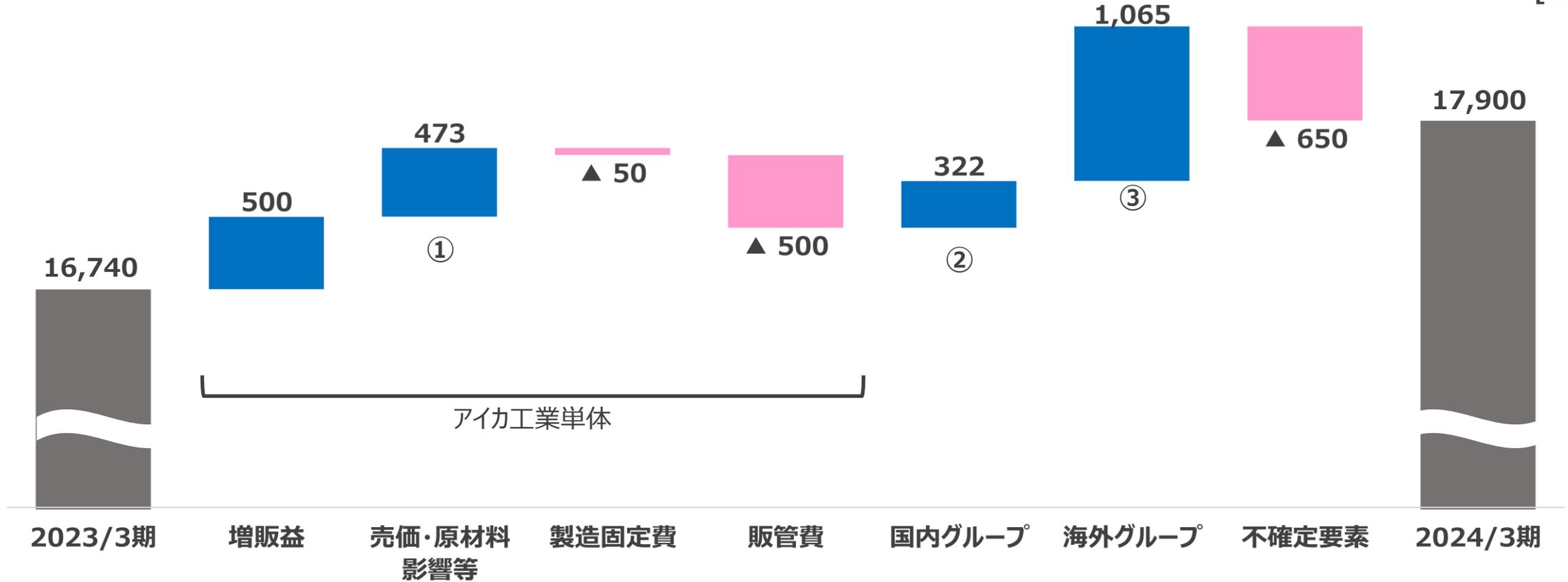
② 海外グループ  
 AAPHグループ +126

※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

※AAPH：アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング

# 2-5. 建装建材セグメント 営業利益計画

[百万円]



① 売価・原材料影響等  
 原材料影響等 ▲1,700  
 価格転嫁・コストダウン +2,223

② 国内グループ  
 アイカテック建材 +306

③ 海外グループ  
 アイカチャイナ +600  
 ウィルソナート・タイ社 +217

※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

※ アイカチャイナ：ウィルソナート上海社＋ソイス社

1. 2024年3月期 第2四半期 実績
2. 2024年3月期 通期 計画
- 3. セグメントの実績および方策**
  - 3-1 化成品セグメント**
  - 3-2 建装建材セグメント**
4. 配当について
5. 中期経営計画 “Value Creation 3000 & 300” の進捗

## 3-1-1. 化成品セグメント 商品群別売上実績および計画

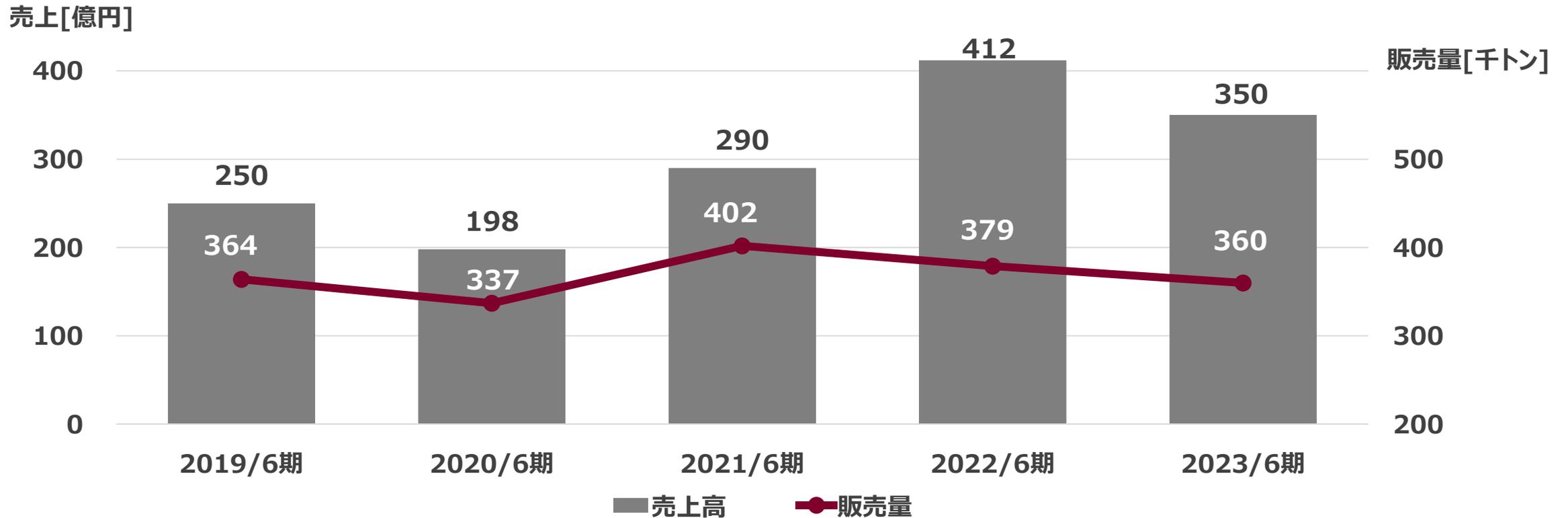
[億円]

	2023/3期 (実績)				2024/3期 (実績・計画)			
	分類(旧)		分類(新) ※ <sub>1</sub>		分類(新) ※ <sub>1</sub>			
	上半期	通期	上半期	通期	上半期 実績	伸率	通期 計画	伸率
接着剤 ※ <sub>1</sub>	485.5	961.8	511.1	1,015.0	451.1	▲11.7%	1,044.0	2.9%
(うちAAPHグループ) ※ <sub>1</sub> ※ <sub>2</sub>	(404.3)	(794.7)	(412.2)	(810.7)	(350.5)	(▲15.0%)	(835.0)	(3.0%)
建設樹脂 ※ <sub>1</sub>	47.9	99.2	47.4	98.1	49.9	+5.3%	101.0	2.9%
機能材料 ※ <sub>1</sub>	115.9	221.1	94.9	177.0	74.7	▲21.2%	181.5	2.5%
その他 ※ <sub>1</sub>	67.1	130.8	63.0	122.8	61.1	▲3.1%	123.5	0.5%
合計	716.5	1,413.1	716.5	1,413.1	636.9	▲11.1%	1,450.0	2.6%

※<sub>1</sub> 商品群分類の変更：「機能材料・その他」商品群に分類していた「ホットメルト」、「アクリル・コンパウンド」を今期より「接着剤」の分類に変更  
「接着剤、建設樹脂、機能材料」商品群に分類していた「昆山愛克樹脂」、「瀋陽愛克浩博化工」の売上を今期より「AAPHグループ」の分類に変更

※<sub>2</sub> AAPH：アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング

## 3-1-2. 化成品セグメント 実績 (AAPHグループ)



AAPHグループ：売上▲15% 販売量▲5% 営業利益+5%

原材料市況の下落に伴う販売価格の低下を主要因とした減収  
販売量は中国・インドネシアで伸長もタイ・ニュージーランド・マレーシアなどで減少

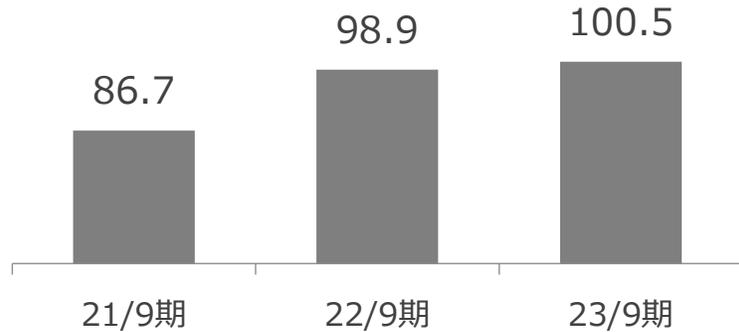
※AAPH：アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング

## 3-1-3. 化成品セグメント 実績 (AAPHグループ以外)

売上[億円]

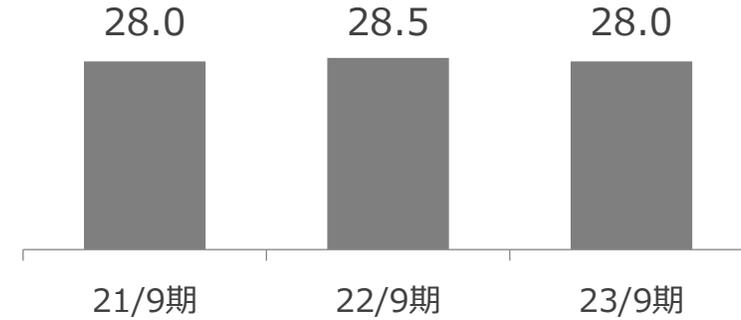
## 接着剤 (AAPHグループ以外)

各種接着剤・フェノール樹脂など



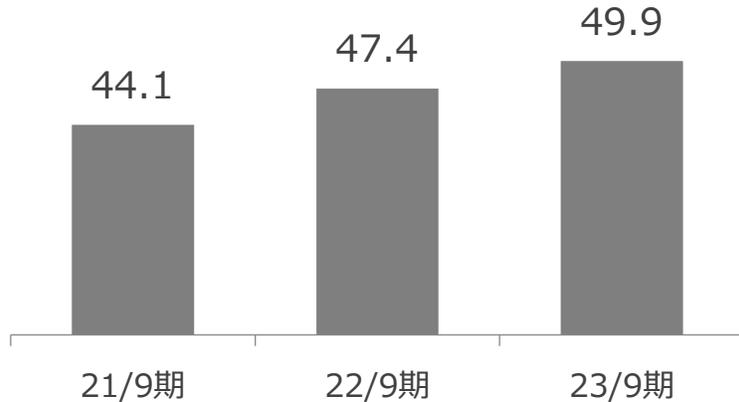
## 機能材料 (国内)

有機微粒子・UV硬化型樹脂など



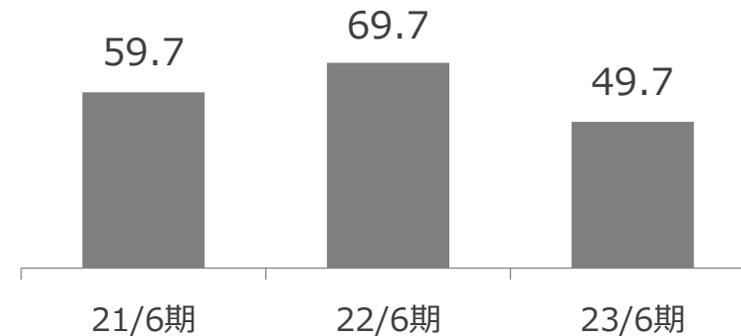
## 建設樹脂

塗り壁材・塗り床材・補修補強材



## EMCグループ

ウレタン樹脂・UV硬化型樹脂など



上表の通り、売上推移は分野毎に傾向が異なるも  
収益性の改善に取り組んだ結果、何れも利益拡大に貢献

※AAPH : アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング

※EMC : エバモア・ケミカル・インダストリー

# 3-1-4. 化成品セグメント 方策 (AAPHグループ)

## AAPHグループ

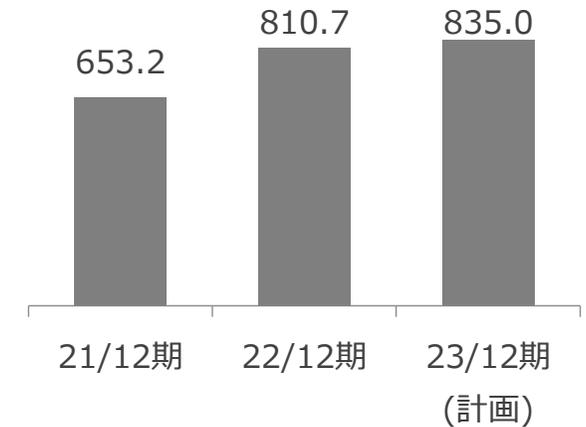
### ■ タイ KUEN BONG 社の株式取得

- ・ 第4四半期(11月)より新規連結化
- ・ ATC社のフェノール樹脂製造能力が約2.5倍に
- ・ フェノール樹脂の製品群拡充
- ・ タイ国内のフェノール樹脂シェア拡大を目指す



タイ KUEN BONG 社

AAPHグループの売上推移[億円]



### ■ 中国プロジェクトの推進

#### ① アイカ広東社の新工場建設

- ・ 工業用接着剤・樹脂、合板用接着剤の生産能力は2倍に
- ・ 2023年9月稼働開始済

#### ② アイカ福建社の新工場建設

- ・ 竹材用フェノール樹脂の需要取り込み
- ・ 2024年春、稼働開始予定



アイカ広東社 新工場



アイカ福建社 新工場

アジアの樹脂・接着剤需要の取り込み

**AAPHグループ 通期売上計画：835.0億円(前年比 +3.0%)**

※AAPH：アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング

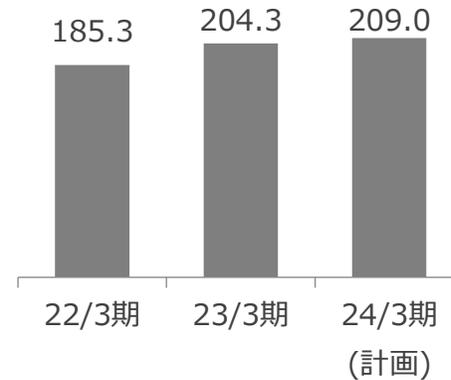
※ATC：アイカタイケミカル

# 3-1-5. 化成品セグメント 方策（接着剤・建設樹脂）

## 接着剤（国内）

- 梱包用ホットメルト、建材用ホットメルトの拡大（アイカアドテック社、EMCグループシナジー）、ヘッドランプ用弾性ホットメルトの拡販
- SDGs・脱炭素取り組み企業への提案強化
- 選択と集中による利益率向上  
(品目の統廃合、価格改定、生産コストダウン、購買コストダウン)

接着剤国内の売上推移[億円]



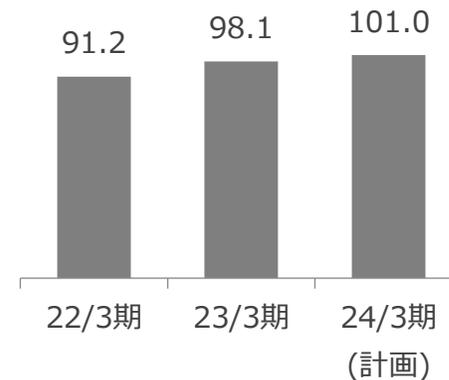
バイオマス素材を使用した合板・LVL用バイオフィノール(左)と従来品(右)

**接着剤(国内) 通期売上計画 : 209.0億円(前年比 + 2.3%)**

## 建設樹脂

- AS商品（塗り床材・塗り壁材）の設計活動強化
- 改修向け塗り壁材や湿式外断熱工法の販売強化
- 建築改修市場・土木補修補強市場における拡販
- 高付加価値商品の拡販による利益拡大

建設樹脂の売上推移[億円]



高級意匠性塗材「クライマテリア」施工事例

**建設樹脂 通期売上計画 : 101.0億円(前年比 + 2.9%)**

※EMC：エバモア・ケミカル・インダストリー

※AS商品：AICA Solution商品の略。  
様々な社会課題を解決する商品

## 3-1-6. 化成品セグメント 方策（機能材料）

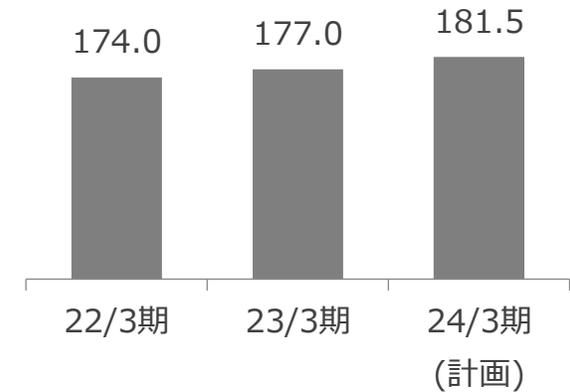
### 機能材料（国内）

- 自動車用3次元加飾フィルムの実績拡大
  - ・ モビリティ素材開発室新設、外装用フィルムの実績化スピード向上
- 化粧品向け微粒子のコロナ回復需要の獲得、工業用微粒子の挽回
- 粘接着剤の実績拡大（UV、アクリル、シリコーン）



自動車用3次元加飾フィルム

機能材料の売上推移[億円]



### EMCグループ

- ユーベスト社(ベトナム)のシナジー創出
  - ・ 台湾や中国から輸出していたベトナム・シューズメーカーへのPUSを現地生産化すべく取り組み中
  - ・ 早期の現地生産化を目指す
- 南投工場（台湾）のUV硬化型モノマー第3製造ライン立ち上げ
  - ・ 大園工場で製造しているUV硬化型コーティング剤(紙用)の原材料としてもこのモノマーを使用
  - ・ 顧客ニーズの高まりにより、生産能力を1.6倍に拡大
  - ・ 2024年1月 量産開始に向けて順調に進捗中
- 東南アジア向けUV硬化型コーティング剤(紙用)の拡販



ベトナム ユーベスト社



UV硬化型コーティング剤使用例  
(ラベル用)

**機能材料 通期売上計画：181.5億円（前年比+2.5%）**

※EMC：エバモア・ケミカル・インダストリー

## 3-2-1. 建装建材セグメント 商品群別売上実績および計画

[億円]

	2023/3期 (実績)				2024/3期 (実績・計画)				
	分類(旧)		分類(新) ※		分類(新) ※				
	上半期	通期	上半期	通期	上半期	伸率	通期	伸率	
メラミン化粧板	141.0	322.0	141.0	322.0	159.1	+12.8%	345.0	7.1%	
ボード フィルム等	58.3	125.0	58.3	125.0	58.4	+0.2%	126.5	1.2%	
セラール	101.4	217.4	101.4	217.4	108.1	+6.6%	223.0	2.5%	
不燃建材	38.5	78.0	38.5	78.0	34.6	▲10.0%	78.6	0.8%	
カウンター ポストフォーム	住器建材	98.3	213.0	121.0	264.8	135.6	+12.0%	276.9	4.5%
建具 インテリア建材		22.7	51.8						
合計		460.5	1,007.4	460.5	1,007.4	496.1	+7.7%	1,050.0	4.2%

※ 商品群分類の変更：「カウンター ポストフォーム」と「建具 インテリア建材」の商品群を今期より「住器建材」に統合

# 3-2-2. 建装建材セグメント 実績（国内）

## ■ 国内建設市場の市場環境

上半期：住宅は微減、非住宅は低調推移

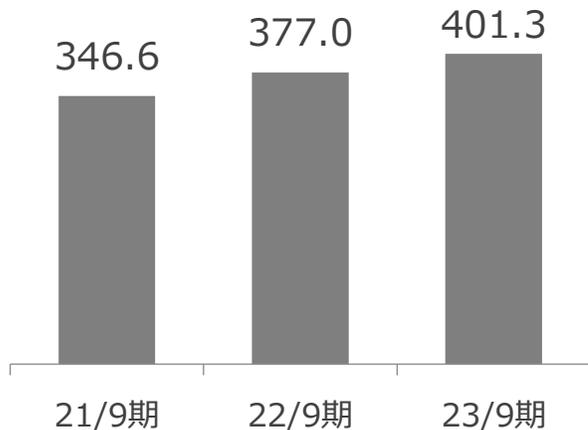
上半期期初予測      住宅：▲0.5%、非住宅：▲8.1%

上半期実績            住宅：▲1.4%、非住宅：▲8.3%

※当社需要期へタイムラグ調整済み

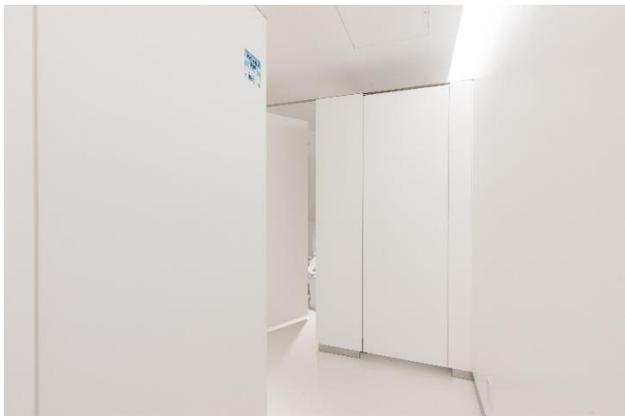


国内売上の推移[億円]



## ■ 2024年3月期上半期 好調であった商品

抗ウイルスメラミン不燃化粧板  
セラールウイルテクトPlus



株式会社竹中工務店 北海道支店 札幌地区FMセンター  
設計・施工/株式会社竹中工務店

洗面化粧台 スマートサニタリー



高意匠メラミン不燃化粧板  
セラールセレント



allée  
設計/株式会社KAMITOPEN一級建築士事務所  
撮影/株式会社ロッヂコープ 宮本啓介

# 3-2-3. 建装建材セグメント 方策（国内）

## AS商品の拡販

※AS商品： AICA Solution商品の略。  
様々な社会課題を解決する商品

防カビ不燃天井材 **カビテクト**



カラーラバトリーボウル **カラフィ**



## ■ 床・天井市場向け製品の実績拡大

- ・ 高圧メラミンフロアタイル「メラミンタイル」、防カビ不燃天井材「カビテクト」、セーラール天井向け施工方法「セーラールFP工法」
- ・ 設計指定活動強化

## ■ 人工大理石カウンターの拡販

- ・ 上半期売上：11.1億円（前年比+23%）
- ・ 設計指定活動強化、アイテム拡充による新規獲得

## リフォーム市場の拡販

### ■ セーラールONタイル工法による改修市場のシェア獲得

- ・ サステナブルな改修工法としてセーラールONタイル工法が好評
- ・ 高意匠商品含め、住宅/非住宅双方への提案を強化
- ・ セーラールシリーズのみならず、水回り商品の複数提案強化

### メラミン不燃化粧板改修工法 **セーラールONタイル工法**

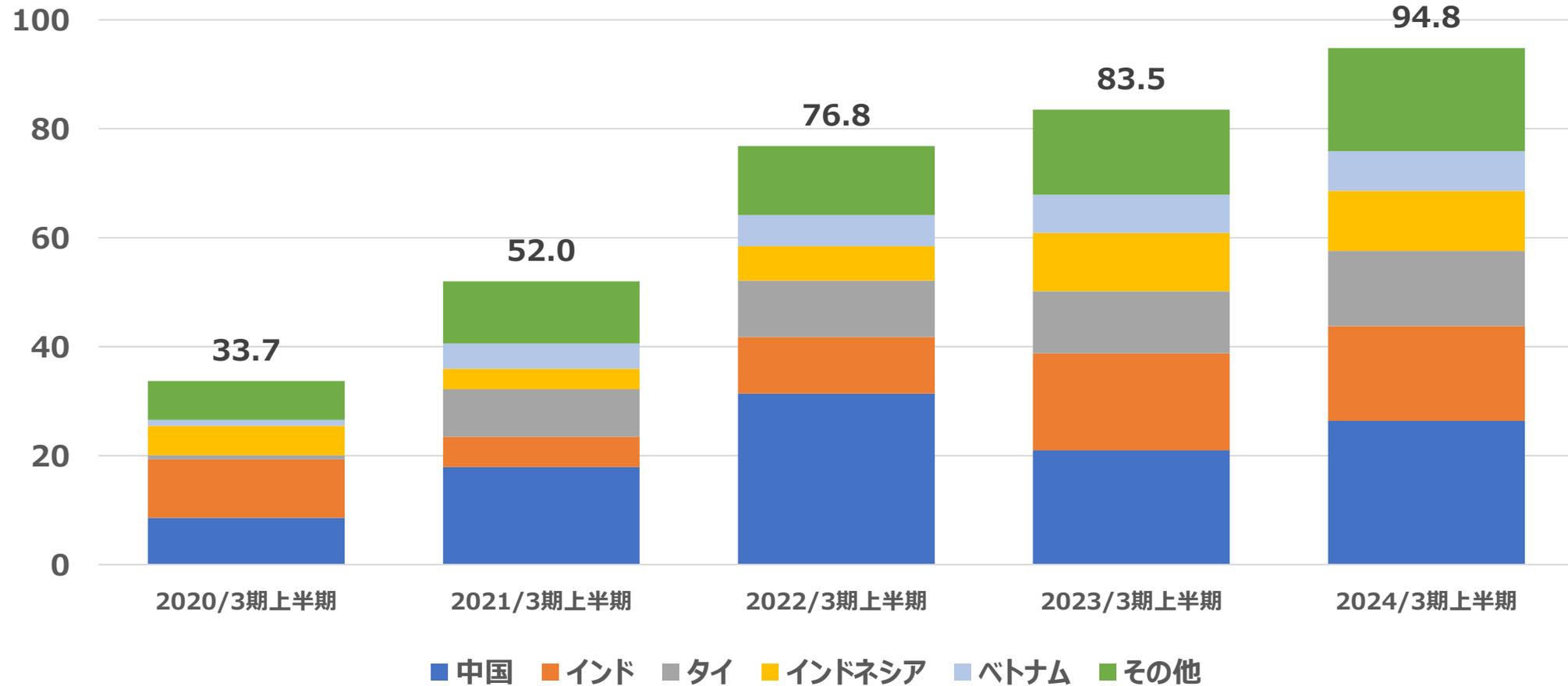


廃棄物処理には  
温室効果ガスが発生

## 3-2-4. 建装建材セグメント 売上実績 (海外)

建装建材セグメント・海外事業の上半期売上推移

[億円]



中国・タイで化粧板の販売が大幅に伸長し、海外事業の売上を牽引

## 3-2-5. 建装建材セグメント 方策（海外）

### 化粧板の設備投資で域内の旺盛な需要に対応

- アイカ・ラミネーツ・ベトナム社（ALV）の設備投資
  - ・ 生産能力を2倍に引き上げ
  - ・ 2024年1月 稼働開始予定
- アイカ・ラミネーツ・インド社（ALIP）の製造設備増設・改良
  - ・ 2025年度には生産能力を1.6倍に
  - ・ 2027年度には販売量を1.5倍に伸長する計画

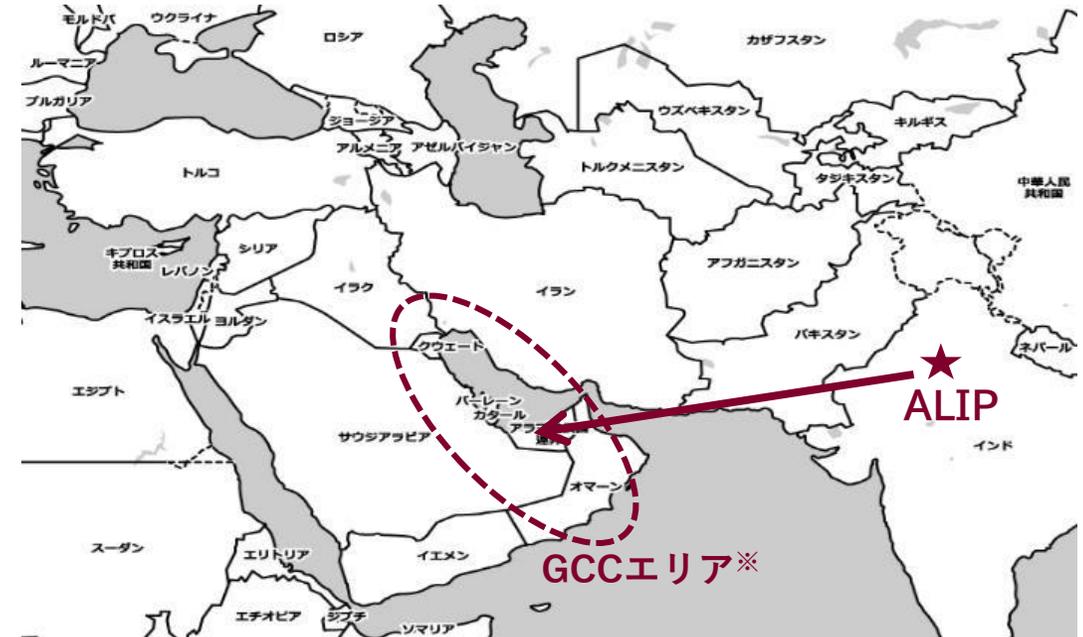


ALIP社で増設した含浸機



ALIP社で増設したプレス機

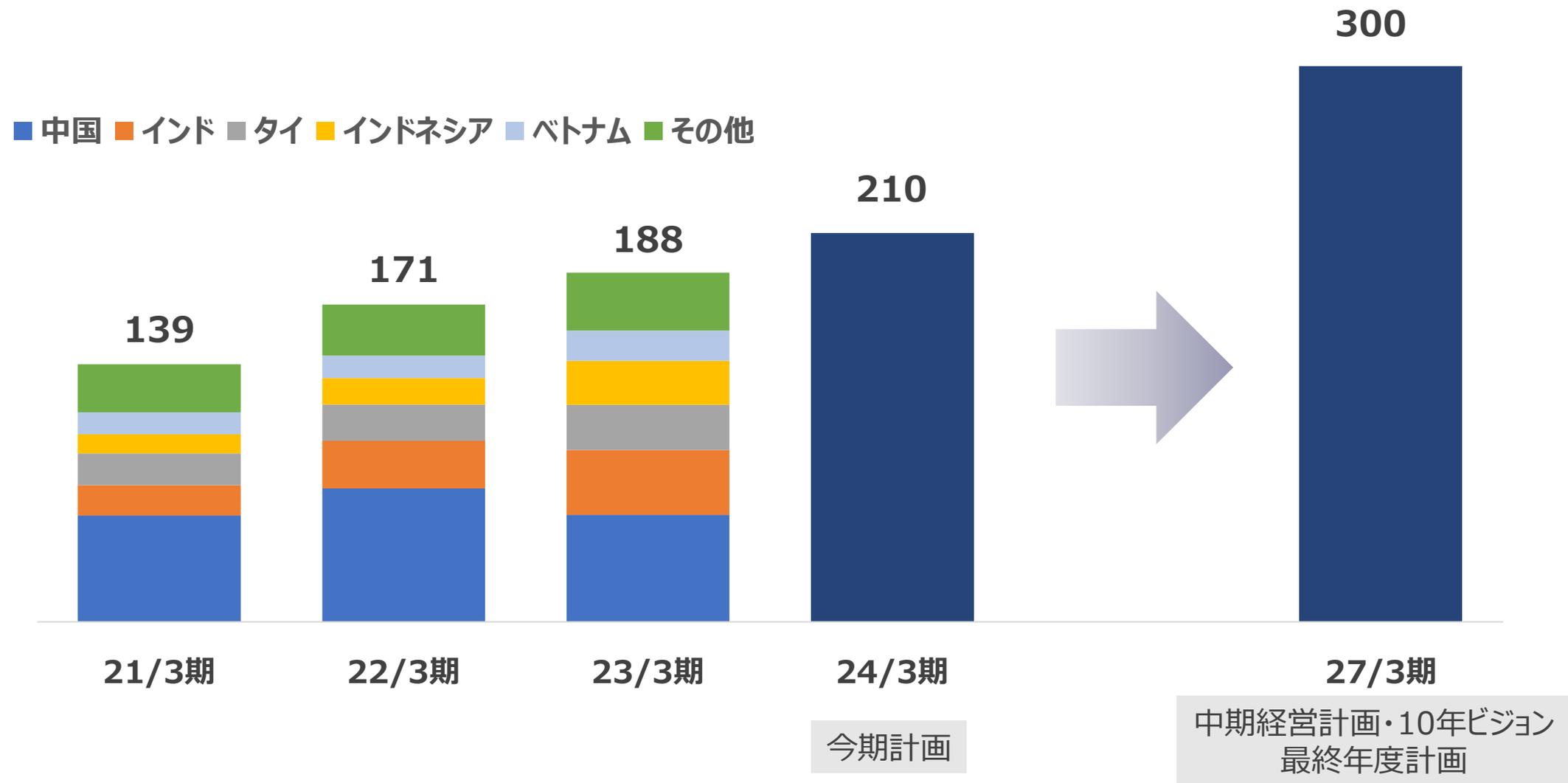
### ALIP社がドバイ支店開設



※GCC：UAE、サウジアラビア、クウェート、バーレーン、カタール、オマーンの6か国が加盟する「湾岸協力会議」の略称。

- グループ初の中東拠点
- 市場伸長が期待できる中東地域のビジネス拡大
- 2025年度に売上5.5億円にする計画
- 2023年8月開設済み

建装建材セグメント・海外事業の売上推移[億円]

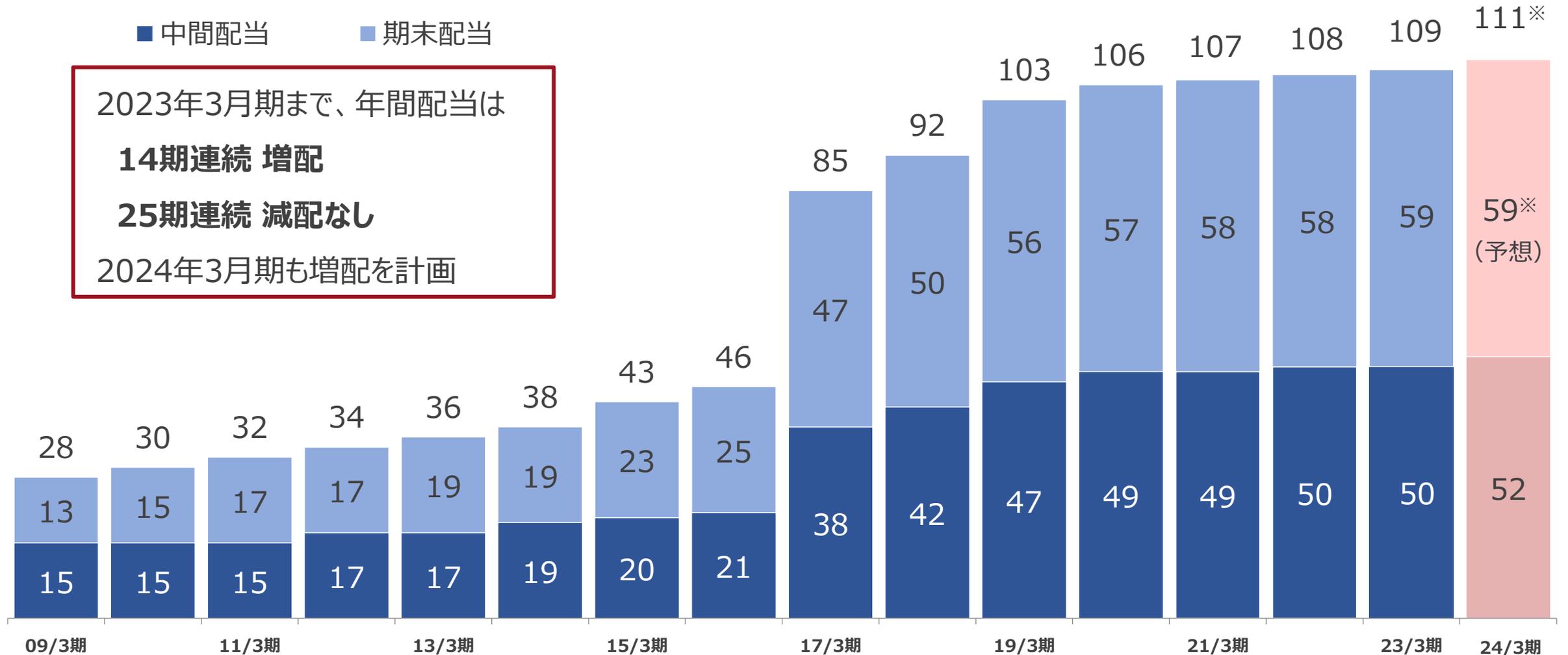


1. 2024年3月期 第2四半期 実績
2. 2024年3月期 通期 計画
3. セグメントの実績および方策
  - 3-1 化成品セグメント
  - 3-2 建装建材セグメント
- 4. 配当について**
5. 中期経営計画 “Value Creation 3000 & 300” の進捗

## 4. 配当について

## 減配をしない累進配当の継続を基本方針とする

[円]



※2024/3期の期末配当は、現時点の予想値です。

1. 2024年3月期 第2四半期 実績
2. 2024年3月期 通期 計画
3. セグメントの実績および方策
  - 3-1 化成品セグメント
  - 3-2 建装建材セグメント
4. 配当について
5. **中期経営計画 “Value Creation 3000 & 300” の進捗**

## 財務

## 非財務

### 【基本方針】

1. 収益性の改善

2. 成長事業の創出・育成

3. 健全な経営基盤の構築

気候変動対応

人的資本経営の基盤構築

### 【経営指標】

売上高

**3,000**億円

経常利益

**300**億円

AS商品※1売上高※2

**280**億円

海外売上高比率

**50%**以上

ROE

**10%**を目処

ROIC

**8%**を目処

気候変動対応

GHG※3排出量削減(Scope1+2) 2022年度比 **▲14%**

環境投資額

4年累計 **20**億円

人的資本経営の基盤構築

人的資本投資額※2

4年累計 **40**億円

エンゲージメントスコア

**4.0**Point以上  
(満点5Point・2022年3.9Point)

※1 : AICA Solution商品の略。様々な社会課題を解決する商品

※2 : アイカ工業単体

※3 GHG : 温室効果ガス

## 2024/3期上半期実績

財務	(1) 経済価値の提供	売上高1,133億円、経常利益120億円、海外売上高比率48%。2円増配。
	(2) 商品を通じた社会課題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>AS商品※1 売上：100億円※2。</li> <li>化粧板を中心にリサイクル手法の開発を進行中。</li> </ul>
非財務	(3) 気候変動対応	<p>2050年カーボンニュートラルの達成に向け、各種取組みに注力。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アイカ工業国内の生産拠点(一部を除く)で使用する電力の40%を再生可能エネルギー由来の電力に切り替え。</li> <li>海外グループ会社のスコープ3 算定トライアル実施。</li> <li>カーボンフットプリント低減商品の開発は、バイオマス原料の活用を中心に進行中。</li> </ul>
	(4) 人的資本経営の基盤構築	<p>人材を最も重要な経営資源と捉え、企業のサステナビリティを高めるための人材マネジメントを強化。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人的資本投資額※：10億円以上（2024/3期通期見込み）</li> <li>グローバル人材育成：海外新規赴任者6名。海外トレーニー制度再開。</li> <li>エンゲージメントスコア：海外グループ会社における高評価項目を調査・分析し、共有。</li> </ul>
	(5) DX対応	自動化・省人化に資する設備投資額、情報化投資額：46百万円。
	(6) ガバナンス強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権方針を策定。人権尊重の取組み全体をホームページにて開示。</li> <li>贈収賄・腐敗防止方針を策定。これにもとづく規程・ガイドラインの検討開始。</li> <li>ファイヤーウォール・VPNソフト最新化およびEDRソフト導入が完了。ITガバナンスに関する情報共有会を開催。</li> </ul>
	(7) 品質保証・労働安全	休業労災件数は前年より減少。

※1：AICA Solution商品の略。様々な社会課題を解決する商品

※2：アイカ工業単体

## 5-3. 中期経営計画 “Value Creation 3000 & 300” 進捗

項目	前中計		1年目		4年目
	2023/3期 (実績)		2024/3期 上半期 (実績)	2024/3期 通期 (計画)	2027/3期 (計画)
売上高	2,420億円		1,133億円	2,500億円	3,000億円
経常利益	220億円		120億円	225億円	300億円
A S商品※1売上高※2	193億円		100億円	220億円	280億円
海外売上高比率	51.2%		48.3%	50%以上	50%以上
EBITDA	化成品	109.46億円	60.49億円	117.00億円	173.00億円
	建装建材	195.60億円	102.93億円	205.00億円	264.00億円
EBITDA率	化成品	7.8%	9.5%	8.0%	9.9%
	建装建材	19.4%	20.7%	19.5%	21.1%

※1 AICA Solution 商品の略。様々な社会課題を解決する商品

※2 連結消去前単純合算売上高



## アイカ工業株式会社

本資料に掲載されているアイカ工業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報からアイカ工業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみ全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。